

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 13 日 (2020.8.13)

【公表番号】特表 2020-502153 (P2020-502153A)

【公表日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)

【年通号数】公開・登録公報 2020-003

【出願番号】特願 2019-532067 (P2019-532067)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/48 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 9/06 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 19/08 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/745 (2006.01)

C 1 2 N 9/68 (2006.01)

C 1 2 N 15/57 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 38/48 1 0 0

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 9/12

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/06

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 19/08

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 43/00 1 2 1

C 0 7 K 14/745 Z N A

C 1 2 N 9/68

C 1 2 N 15/57

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 19 日 (2020.6.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【特許請求の範囲】

## 【請求項 1】

対象の肥満症を予防または治療するための、有効量のプラスミノーゲンを含む医薬組成物。

## 【請求項 2】

前記プラスミノーゲンは、組織および/または器官、および/またはその周囲、ならびに/あるいは腹腔における脂質の異常沈着または過剰沈着を減少させることによって肥満症を治療する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 3】

前記プラスミノーゲンは、皮下、心臓、肝臓、肺臓、腎臓、血管、腸間膜、腹膜、体腔、および器官周囲からなる群より選択される部位における脂質の異常沈着または過剰沈着を減少させる、請求項 2 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 4】

前記プラスミノーゲンは、前記対象の血脂を低下させることによって、特にトリグリセリドおよび低密度リボタンパク質レベルを低下させることによって肥満症を治療する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 5】

前記肥満症は、単純性肥満症またはその他の疾患に継発する肥満症である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

## 【請求項 6】

前記肥満症は、内分泌障害疾患、糖代謝疾患、肝臓疾患、腎臓疾患、心血管疾患、腸疾患、甲状腺疾患、胆嚢または胆道疾患、過量飲酒、あるいは薬物作用に継発するものである、請求項 5 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 7】

前記肥満症は、疾患と合併し、疾患と合併する前記肥満症は、内分泌疾患と合併する肥満症、代謝性疾患と合併する肥満症、心血管疾患と合併する肥満症、消化系疾患と合併する肥満症、または退行性疾患と合併する肥満症であり、

具体的には、糖尿病と合併する肥満症、高血圧と合併する肥満症、アテローム性動脈硬化症と合併する肥満症、肝臓疾患と合併する肥満症、または骨粗しょう症と合併する肥満症である、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

## 【請求項 8】

組織および/または器官、および/またはその周囲、皮下、あるいは腹腔における脂肪の異常沈着または過剰沈着を減少させることにより、対象の肥満症の発症リスクを低めるための、有効量のプラスミノーゲンを含む医薬組成物。

## 【請求項 9】

前記プラスミノーゲンは、

1) 皮下、心臓、肝臓、肺臓、腎臓、血管、腸間膜、腹膜、体腔、器官周囲からなる群より選ばれる一つ以上の部位における脂質の異常沈着または過剰沈着を減少させることと、

2) 肝臓脂肪の除去を促進することと、

3) 血中脂質の除去を促進することと

からなる群より選択される一つ以上の方法によって対象の体内の脂肪の異常沈着または過剰沈着を低減する、請求項 8 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 10】

前記プラスミノーゲンは、血清のトリグリセリドレベル、低密度リボタンパク質レベルを低下させる、請求項 9 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 11】

前記プラスミノーゲンは、一種以上のその他の薬物または治療方法と併用される、請求項 1 ~ 10 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

## 【請求項 1 2】

前記一種以上のその他の薬物は、高血圧の治療薬、糖尿病の治療薬、アテローム性動脈硬化症の治療薬、慢性糸球体腎炎の治療薬、慢性腎盂腎炎の治療薬、ネフローゼ症候群の治療薬、腎機能不全の治療薬、尿毒症の治療薬、腎移植の治療薬、脂肪肝の治療薬、肝硬変の治療薬、肥満症の治療薬からなる群より選択される、

具体的には、前記一種以上のその他の薬物は、脂質低下薬、抗血小板薬、血圧降下薬、血管拡張薬、血糖降下薬、抗凝固薬、血栓溶解薬、肝臓保護薬、抗不整脈薬、強心薬、利尿薬、抗感染薬、抗ウイルス薬、免疫調節薬、炎症調節薬、抗腫瘍薬、ホルモン薬、チロキシンからなる群より選択される、請求項 1 1 に記載の医薬組成物。

## 【請求項 1 3】

前記プラスミノーゲンは配列番号 2 と少なくとも 75 %、80 %、85 %、90 %、95 %、96 %、97 %、98 % または 99 % の配列同一性を有し、且つ依然プラスミノーゲン活性を有するものである、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

## 【請求項 1 4】

前記プラスミノーゲンは、配列番号 1 4 に示されるプラスミノーゲン活性フラグメントを含有し、且つ依然プラスミノーゲン活性を有するタンパク質である、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

## 【請求項 1 5】

前記プラスミノーゲンは、G l u - プラスミノーゲン、L y s - プラスミノーゲン、ミニプラスミノーゲン、マイクロプラスミノーゲン、 - プラスミノーゲンまたはそれらのプラスミノーゲン活性を保持した変異体である、請求項 1 ~ 1 2 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。